

## 自行车保险

大家知道“自行车保险”吗？这是骑自行车的人成为肇事者时的事事故保险。近几年发生过骑自行车的人成为肇事者，致使行人死亡的重大交通事故。此外，因为发生自行车接触事故，也有被裁判所判决支付巨额赔偿命令的事例。比如，以下是裁判所作出的赔偿命令中的赔偿金额：

[赔偿金额：9266 万日元]

自行车与自行车发生相撞（受害者因丧失语言功能等留下重大残疾）

[赔偿金额：6779 万日元]

自行车与行人相撞（受害者因脑挫伤等三天后死亡）

那么，怎么加入自行车保险呢？最一般的是在自行车店买自行车时或是委托修理自行车时加入保险，即公益财团法人日本交通管理技术协会运营的“TS 标志附带保险”。要加入保险必须按照自行车安全维修制度的规定接受维修、检查。费用一般多是 500 日元到 1500 日元。除维修、检查之外，比如刹车内线生锈、轮胎胎面花纹被磨平、反射板或是车铃破损等需要修理时，要另外支付配件的成本费用和修理费用（因店而异）。保险的有效期间是 1 年。如果过后还想继续加入保险，需要在自行车安全维修店再一次接受维修和检查。补偿内容等的详细说明请参照协会的网页。



<http://www.tmt.or.jp/safety/index2.html>

此外，最近越来越多的自行车保险可

## 自転車保険



みなさんは「自転車保険」をご存知でしょうか。自転車の乗っている人が加害者となって起こしてしまう事故の保険です。近年、自転車に乗っている人が加害者となり、歩行者を死亡させてしまうという大きな事故が起こっています。また、自転車の接触事故で多額の賠償命令が裁判所から出されているケースもあります。例えば、以下は裁判所の賠償命令で出た金額です。

[賠償額 9266 万円]

自転車同士の衝突（被害者は言語機能喪失などの重大な障害が残った）

[賠償額 6779 万円]

自転車と歩行者の衝突（被害者は脳挫傷などで3日後に死亡）

では、どのように自転車保険に加入するのでしょうか。最も一般的なのは、自転車屋で自転車を購入したときや、修理を依頼したときに加入する保険で、公益財団法人日本交通管理技術協会が運営する『TS マーク付帯保険』です。加入にあたっては自転車安全整備士の規定の整備・点検を受けなくてはなりません。料金は 500 円～1500 円であつて、扱っているところが多いようです。整備・点検以外に、例えばワイヤーが錆びている、タイヤの溝がなくなっている、反射板やベルが破損している等、修理が必要な場合は、部品代+工賃（お店による）が上乗せされます。保険の有効期間は 1 年間です。その後も継続したければ、再び自転車安全整備店で整備・点検を受ける必要があります。補償内容等の詳細は協会ホームページでご確認ください。

また、最近の自転車保険はインターネットから加

以通过互联网加入。一些大型手机公司也开始向利用自己公司智能手机的客户推出自行车保险业务。签订合同以及解除合同都可以通过端末系统简单操作，还有比较方便的是每个月的保险费可以和电话费一起转账。

加入保险时，必须考虑的是各种保险支付的个人赔偿的上限额度。自行车事故真正可怕的不是自己受伤、自行车破损，而是因对方受伤而产生的损害赔偿 responsibility。就像上面所述，现实中也出现过被判决支付将近 1 亿日元的案例。但是，如果上限额度高，保险费当然也高，所以选择适合自己的保险很重要。

入できるものが多いです。大手携帯電話会社でも自社のスマホ利用者向けに自転車保険を販売しています。端末からの操作で契約や解約手続きが簡単で、保険料は月々の電話代と一緒に引き落とされるという利便性があります。

加入にあたって考えなければならないことは、それぞれの保険の個人賠償責任の上限度です。自転車事故で本当に怖いのは、自分が怪我をしたり、自転車が破損したりすることではなく、相手を傷つけてしまうことで生じる損害賠償責任です。上で見たように現実に 1 億円近い支払命令も出ています。ただ、上限度が高ければ、保険料も当然高くなるので、自分にあった保険を選ぶことが重要です。(S)